信州発
“ずく”出して、世界へのはじめの一歩 イマ・ココから

国際協力

2026.10
秋号
No.89
JICA 駒ヶ根

2026年度2次隊 訓練中!!


訓練所に到着!

9月8日（火）、2026年度2次隊の訓練生126名が駒ヶ根訓練所に入所しました。駒ヶ根訓練所の今隊次の派遣予定国数は35ヵ国で、一番多い地域は中南米。言語クラスは10言語32クラスで、履修者が一番多い言語はスペイン語です。今年は、コートジボワール派遣が、2002年派遣（2003年に全員引揚）以来24年ぶりの再開となり、駒井 友美子（こまい ゆみこ）さん（家政・生活改善）、澤田 健（さわだ けん）さん（バレーボール）、佐藤 実邦（さとう みく）さん（看護師）の3名が鋭意訓練中です。

これまで派遣した隊員は累計で58,805名、派遣国数は99ヵ国です。（2026年8月末時点）


体力維持講座


避難訓練


スペイン語クラス


フランス語クラス


みんなでボッチャ!

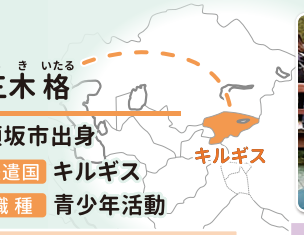


2026年度2次隊（5名）
長野県にゆかりのある JICA海外協力隊員



三木 格（みき いたる）

須坂市出身
派遣国 キルギス
職 種 青少年活動



小学生から高校生までを教える英語教員として、キルギスに派遣予定です。キルギスと日本、ゆくゆくは世界中を繋げられるような国際交流や教育活動ができたらと思っています。応援よろしくお願いします！



関口 祐平（せきぐち ゆうへい）

佐久市出身
派遣国 ルワンダ
職 種 バスケットボール

長野県で育ち、学生時代から10年以上バスケットボールに打ち込んできました。日々の練習や試合を通じて、仲間と支え合い、それぞれの役割を果たしながら一つの目標に向かう大切さを学びました。ルワンダでもバスケットボールを通じて子どもたちの成長に貢献したいです。



北川 茉依香（きたかわ まいか）

千曲市出身
派遣国 ニカラグア
職 種 青少年活動

私は生まれてから大学卒業まで長野県で過ごし、子ども食堂や市のボランティア活動などを通じて様々な経験をさせていただきました。これらの経験を現地でも生かし、子どもたちやその家族のために自分にできることを精一杯やってきたいと思います。



安達 佳与子（あだち かよこ）

長野市出身
派遣国 モロッコ
職 種 日本語教育

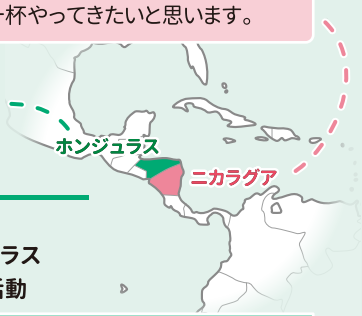


1代目隊員としてフェズ県のシディ・モハメッド・ベン・アブドゥッラ大学で日本語指導や現地講師の育成、学生主体のイベント企画、キャリア支援に努めます。これまでの絆を大切に、学生・地域の方に日本の文化を伝えていきます。



宮本 裕貴（みやもと ゆうき）

上田市出身
派遣国 ホンジュラス
職 種 青少年活動



ホンジュラスでは、スポーツを通じて、子どもたちにルールを守ることの大切さを伝え、野球のローカルリーグ設立にも取り組みます。任地の方々に協力することの大切さやチームワークの素晴らしさを実感していただけるような活動を目指していきたいです。

グローカルプログラム in 駒ヶ根



土屋 未来さん
（パラグアイ／青少年活動）

村上 美晴さん
（マダガスカル／病院運営管理）

期 間 2026年6月15日～8月28日
要 請 多文化共生の推進
活動内容 外国籍住民の日常生活における
コミュニケーション支援活動

駒ヶ根市のグローカルプログラム（以下、グローカル）に取り組んだ、土屋さんと村上さんのお二人にお話を伺いました。

Q なぜ、駒ヶ根市のグローカルに参加しようと思ったのですか。

土屋さん 協力隊で派遣されるパラグアイでは、日本語の学習支援を行う予定です。そこにつながる実務経験を積みたかったというのが一番の理由です。

村上さん やはり、多文化共生に関心がありました。以前、海外で生活した時に苦労した覚えがあり、日本で暮らす外国籍の方たちも同じだろうなと想像したら、その支援をしてみたいと思ったんです。



Q グローカルでは、どんな活動をされたのですか。

土屋さん 地球人ネットワークinこまがね（以下、地球人）の日本語教室を通じた、外国籍の方の支援に取り組みました。実務経験のない自分にできることは何かと考え、まずは日本人ボランティアの方が活動しやすい環境を作るため、山のようにあるテキストの整理・整頓（用途や難易度別に分ける）から始めました。

村上さん けっこう大変だったよね（笑）

土屋さん そして、外国人従業員と日本人従業員のコミュニケーション活性化のため“やさしい日本語”を普及しようと企業への働きかけを行ったり、地域イベントで“やさしい日本語”の紹介をしたりしました。少しでも外国籍住民と地域住民がつながるきっかけになっていれば嬉しいです。

村上さん 私は前任のグローカル生が残してくれたアンケート結果をもとに、外国籍の方の医療現場における困りごとが軽減されるように活動しました。実際に駒ヶ根市内の病院から、外国籍患者への対応に関する課題についてお話を伺い、「入院時の持ち物」や「救急外来の問診票」など6種類の書類を英語および“やさしい日本語”に翻訳し、共有させていただきました。





↑活動の様子 →

Q グローカルでの成果を教えてください。

村上さん 私はずっと“全体を見る”ということに苦手意識がありました。いち看護師として患者さんの前に立つと、目前の患者さんにとって最善の医療は何かと考えます。だけど、開発支援の場では、地域住民や難民・避難民など、集団を対象として考えることが重要だと感じています。また、人前に出て何かするということもすごく苦手だったので、いまこうして、皆さんと一緒に歌ったり踊ったりしている自分に驚いています。きっとそれは、誰のことも否定しない地球人の皆さんと一緒に過ごしたからだと思います。皆さんと関わる中で「ああ、なんか自分のままでいいんだな」と思えるようになったことが、本当にありがたいなと感じています。

土屋さん うん、グローカルめちゃ楽しかったですね。皆さんフレンドリーで優しい、本当に温かい人たちでした。それと、これは地球人の方もおっしゃっていましたが、この地域の人たちは外から来る人に対して抵抗感があまりないんだと思います。だから、私たちも普通に受け入れてもらえた。グローカルに参加した時は、正直、とりあえずなんでもやってみようぐらいの気持ちでしたが、本当に参加して良かったと感じています。いろいろな人やコミュニティと関われたことで、自分の地元にはどんなコミュニティがあったんだろうと見直すきっかけになったり、将来、自分が住む地域ではどんな取り組みがなされているのだろうと興味が持てるようになりました。帰国したら、外国籍児童の学習支援や外国人と日本人を繋げるような活動をしたいと考えています。


最終報告会

グローカルってなに？

駒ヶ根市のグローカルについて知る！

3期連続でグローカルを受け入れた
「地球人ネットワークinこまがね」。
お二人が“一番お世話になった人”と名前を挙げた
安部 晋弘（あべ くにひろ）さんと安部 宏美（あべ ひろみ）さん、
会長の高森アナさんにお話を伺いました。





Q グローカル生を受け入れられて、率直な感想をお聞かせください。

晋弘さん 僕らにとっては、すごくありがたいです。僕らが日頃できないことを、彼らと一緒にならできる。僕らがやりたいことを充実させることができるのでとても助かっています。ただ、これから協力隊として派遣される方々にとっては、これが“訓練”になっているだろうかということをいつも考えます。グローカルは、やりたいと手を挙げた人、つまり、やる気があって前向きに取り組める人しか来ない。以前、地域実践を受け入れていた時は、猫も杓子もみんな来ていた。中にはやる気のない人もいたりするけど、僕はそれがお互いの学びの場になっていてすごくいいなと感じていたんです。だから、受け入れ側にとっては大変ありがたいプログラムだけど、訓練としてはどうかなと、訓練所の元訓練総括としては感じるわけです（笑）

宏美さん うん。地球人にとってはすごくいい。私たちができないところに意見をくれたり、困っているところを助けてくれたり。あと、グローカルがあることで、行政が地域の課題に対して考えるきっかけにもなっていると感じています。

聞き手 そういえば、お二人とも、宏美さんがとにかくいろんなイベントに誘ってくれたと話していましたが？

宏美さん それは、私が隊員だった時にそうしてもらった経験があるからです。今日はこの家だとか、今日は結婚式だとか、任地の方々が本当にいろんな所に連れていってくれたんです。私は訳が分からないまま連れて行かれてたんだけど、そういうことで居場所ができていくということが私自身とても心地よかった。だから、いつもとりあえず誘っています（笑）

アナさん そう、よく分からなくても参加してみる、知らないことを知ったり、自分で体験してみるということはとても大切だと思います。二人はいつも熱意と学ぶ意欲をもって参加していました。地球人が大切にしている“楽しむことからはじまる”ということを実践してくれたことが、とても嬉しく感動しました。

Q ところで、地球人は今年20周年を迎えられたそうですね。今後の展望をお聞かせください。

晋弘さん 僕はやっぱり、“企業と一緒に行う日本語教室”と“自治体と一緒に行う防災講座”を推進していきたい。ちゃんとした日本語指導でなくても、毎日、職場で顔を合わせている人同士が30分でも一緒に日本語で話ができたらいいと思うし、地域のいろいろな人たちが普通に一緒に関わる仕組みづくりのために、まずはモデルケースを作りたいですね。

アナさん そのためにも、地球人はこれからも“楽しむことからはじまる”を大切に、日本人と外国人がバラバラにならないコミュニティでありたいと思っています。そのためには、まず日本語を覚えることが大切ですが、今後はもう少しレベルアップして“キャリアアップに向けた日本語学習支援”と“就業につながるような活動の促進”に力を入れていきたいと考えています。得意な英語を生かして英語の先生になるとか、料理を生かした仕事に就くなど、できることを仕事にすることができたら楽しいですね。

20周年 おめでとうございます!!





「地球人ネットワークinこまがね」ってなに？

国際協力
2026 No.89 令和8年10月19日発行
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY KOMAGANE

JICA海外協力隊 秋募集

2026年秋募集におきましては、たくさんのご応募をいただきありがとうございました。JICA海外協力隊は春と秋の年2回募集を行っており、訓練所では今季も駒ヶ根市役所様、八十二長野銀行様、駒ヶ根郵便局様にご協力いただき協力隊パネル展を開催しました。このようなパネル展は、募集期以外にも、学校やイベントなどで実施しております。ご関心をお持ちいただけましたら、お気軽にお問い合わせください。



五女子大コンソーシアム

8月27日(木)、開発途上国の女子教育などに関する取り組みを共同で実施されている「五女子大コンソーシアム(お茶の水女子大学・津田塾大学・東京女子大学・奈良女子大学・日本女子大学)」の皆さんにお越しいただき、通常の施設訪問プログラムに加え、3名の協力隊経験者による体験談や交流会を実施しました。

訓練所では、大学研修や高校の探求学習に係わる訪問学習、学校などへの出前講座も行っています。お気軽にお問い合わせください。▶



高校生体験入隊開催します!

今年も「高校生体験入隊」を開催します。この取り組みは、駒ヶ根協力隊を育てる会との協働で、2024年度に新しくスタートした事業です。高校生の皆さん、多様なバックグラウンドを持つJICA海外協力隊の訓練生との交流を通じ、いろいろな考え方や生き方に触れ"世界と関わる生き方"について考えてみませんか。



2025年の様子

日時 2027年2月6日(土)
9時頃～17時頃まで

お申込みは12月頃から受付を開始する予定です

場所 JICA駒ヶ根

主催／お問い合わせ
駒ヶ根協力隊を育てる会
The Supporting Organization of JOCV KOMAGANE
【事務局】0265−83−2111

たくさんのご支援を、ありがとうございます!

最近、ご寄附に関するお問い合わせをいただく機会が増えております。これまでにも、2024年度には駒ヶ根市立赤穂中学校23組の皆さんから「JICA海外協力隊応援基金」に、また2026年度には駒ヶ根市立赤穂中学校生徒会の皆さんと箕輪町立箕輪中部小学校6年3組の皆さんから、それぞれ「世界の人々のためのJICA基金」へご寄附をいただきました。皆さまの温かいご支援に、心より感謝申し上げます。特に箕輪中部小学校の皆さんには、7月に訓練所へお越しいただき、ご寄附に込めた思いや一連の取り組みについて、手作りの劇を交えながら発表いただきました。心温まるひとときをいただき、改めて御礼申し上げます。

JICAにはさまざまな寄附メニューがありますが、2024年2月に新設された「JICA海外協力隊 応援基金」では、派遣中および帰国後の協力隊員活動をご支援いただけます。これまでにご寄附いただいた皆さまのご芳名も掲載しておりますので、詳しくは、こちらをご覧ください。▶



JICA海外協力隊 応援基金

New Staff Introduction

NEW スタッフ紹介!



診療室
木村 牧絵(きむら まきえ)

2018年度3次隊の看護師として、ネパールで活動しておりました。この度ご縁をいただき今年9月より駒ヶ根訓練所の診療室に勤務しております。訓練生の皆さんが健康で安心して任地へ出発できるよう、少しでもお力になれればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



訓練担当
中島 雅樹(なかじま まさき)

2019年3次隊、ヨルダンで青少年活動隊員として活動していました。2026年8月より、駒ヶ根訓練所で訓練業務を担当しております。駒ヶ根市出身です。訓練生たちのサポート業務だけでなく、駒ヶ根市の魅力も訓練生に伝えていけたらと思っています。よろしくお願いいたします。



毎月2回 SBCラジオに生出演中!
SBCラジオ「ミックスプラス」内コーナー

第1月曜日 15:00～15:15
「トンガ・マガジン～南の島からマロエレレイ!」
トンガ派遣中の竹内(たけうち) 梓(あずさ) 隊員(2024-3/番組制作)が旬の話題や現地での生活についてお届けします。

第3月曜日 13:13～13:30
「協力隊と巡る音楽世界旅行」
長野県ゆかりの協力隊OVが出演し、協力隊の体験談と派遣国での思い出の一曲を紹介しています。

SBCラジオHP

＜2026年度 駒ヶ根訓練所＞
派遣前訓練人数実績
1次隊:134名修了
2次隊:126名訓練中

JICA駒ヶ根 施設訪問 受付中!
JICA駒ヶ根は、JICA海外協力隊の派遣前訓練を行う施設です。普段は一般公開していませんが、施設訪問プログラム(施設見学/ランチ体験/民族衣装体験など)を実施しています。
事前のお申込みが必要ですので、詳しくはこちらをご覧ください。

発行 独立行政法人 国際協力機構 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所(JICA駒ヶ根)
〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15 ☎0265-82-6151 ✉jicakjv-kouhou@jica.go.jp
JICA駒ヶ根HP JICA駒ヶ根FB